





いけお なほ
池緒 菜穂

聖 安久女学園 1年生



♥ 教員・生徒達からの信頼が厚い生徒会長。

♥ 成績優秀。全国模試ではTOP10から外れたことがない。

♥ 剣道部所属。中学生時代に全国大会出場経験あり。

♥ 父親は大手玩具メーカー『池緒カンパニー』の社長。
学園卒業後は副社長の座に就くのではと噂されている。

♥ 身持ちが堅くエッチなことは結婚してからと
考えているので未だに処女。









「ママ、あのお姉ちゃん、なんで僕の妹みたいな格好してるの？」

「じっ！見ちゃいけません！」





あ？

ビュウウウウウウ

〜早朝〜

（これだけ復習したら今日のテストも余裕なはず……！）

「ね、ねえ……。菜穂の格好、どう考えてもヤバイよね……？」

「イ、イジメ……？ それにしては全然へーキそうな顔だけ……」





「よし、時間になったし補習を始めろぞ。
菜穂、前回教えたことは覚えてるよな？」

「はい、先生！」



(え〜っつと、まずは裏スジを舌でなぞって……)

「そうそう、うまいぞ。ほら、そうしたら次はどうするんだった?」

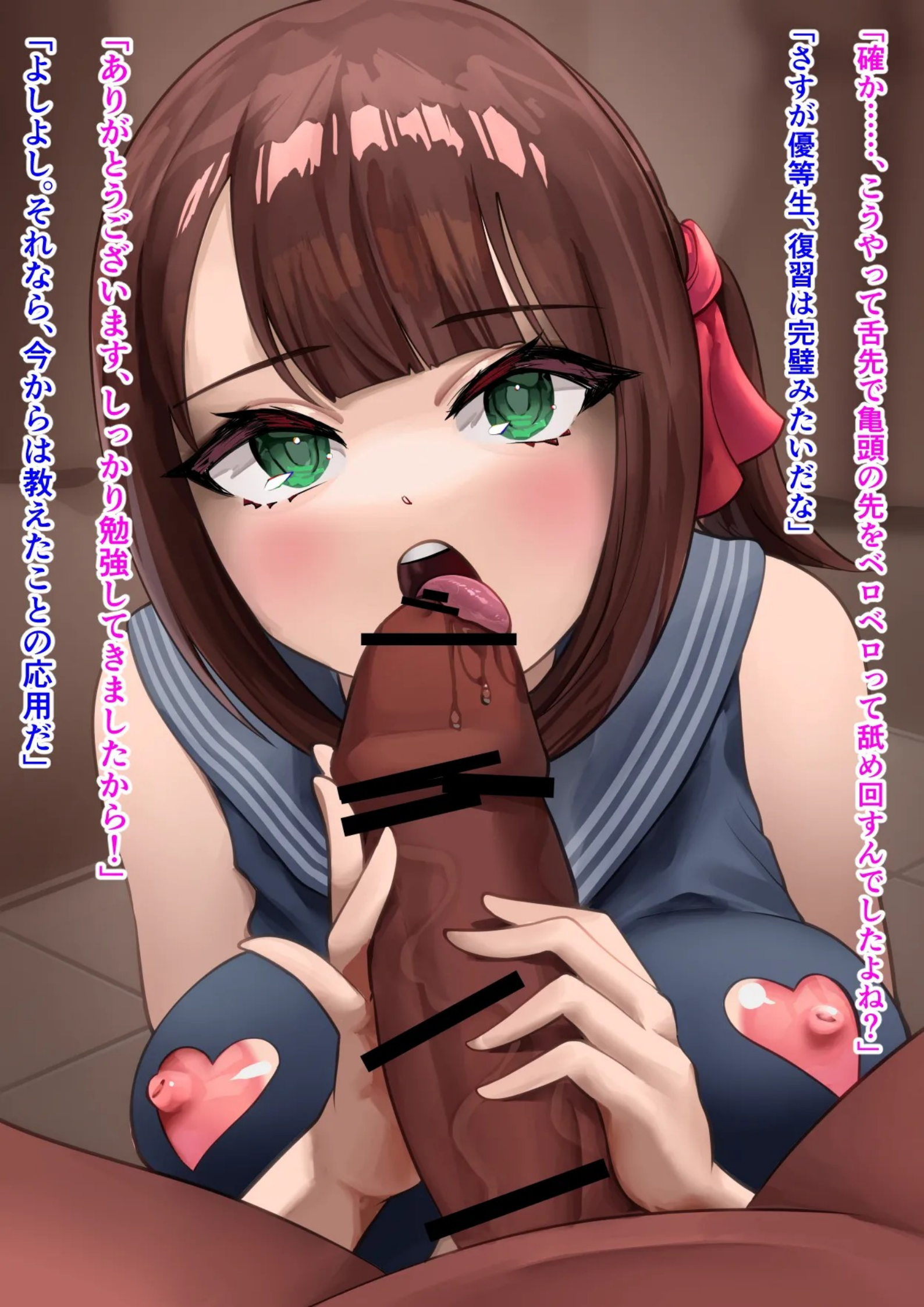


「確か……、こうやって舌先で亀頭の先をペロペロって舐め回すんでしたよね？」

「さすが優等生、復習は完璧みたいだな」

「ありがとうございます、しっかりと勉強してきましたから！」

「よしよし。それなら、今からは教えたことの応用だ」



「口を大きく開けて……丸呑みする気持ちでちんこを咥え込んでみる」

「えっ……、わ、わかりました！」
（こ、こんなに大きいのを、咥えられるかなあ……）



あんむっ

「う、どうですか……？」

「ああ、初めての割にはなかなか悪くないじゃないか」

「は、はひはほふほはいはふ……」

「ははは、なんて言ってるか全然分からないな(笑)
まあいい、そのまま全体を舐め回すように勢いよく舌を動かすんだ」

「ふあ、ふあい……！」



「ささささささ。……よし、そろそろ一発目出すぞ。しっかり受け止めるようにだー」

ぽろぽろ……

ぽろぽろ……♡



「つて、おやおい、誰が口を離してららなんて言ったっ。」

「す、すみません！急だったのでびっくりしちゃって……」

「やれやれ……しょうがない。また二からやり直しだな」

「あつ……、お、お手数をおかけします！引き続きご指導のほど、よろしくお願いいたします……！」
（も、もうっ。こんな初歩的なミスをするなんて、私の馬鹿……！）





ほら、するはらるのりゅうじなよ。

ううう……。(ど)どどうして私がこんな目に……(泣)



























